

## サンプルファイルの SPAN パラメーターを用いた計算例（2015 年 10 月 26 日版）

SPAN を用いた証拠金所要額は、SPAN 証拠金にネット・オプション価値を考慮した額となります。

証拠金所要額 =  $\Sigma$ 商品グループ SPAN 証拠金額 - ネット・オプション価値の総額

商品グループ SPAN 証拠金額 =  $\text{MAX} \{ (\text{スキャンリスク額} + \text{商品内スプレッド割増額} - \text{商品間スプレッド割引額}), \text{売オプション最低証拠金額} \}$

※ここで紹介する計算例はあくまでもサンプルファイルに基づき算出した場合のモデルケースです。実際の取引に当たり、算出される証拠金所要額とは異なる場合があります。

※各商品グループに係る SPAN パラメーターの詳細は、【参考資料 2】サンプルファイルの SPAN パラメーター一覧をご参照ください。

※大阪取引所は、2016 年央を目途に東証マザーズ指数先物、JPX 日経インデックス 400 オプション、台湾加権指数先物及び FTSE 中国 50 先物の上場を予定しております。

（参照 URL：【東証マザーズ指数先物】 <http://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d8/20150624-01.html>

【JPX 日経インデックス 400 オプション】 <http://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d8/20150624-02.html>

【台湾加権指数先物】 <http://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d8/20150908-1.html>

【FTSE 中国 50 先物】 <http://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d8/20151028-01.html> )

### 例 1：東証マザーズ指数先物取引を下表のとおり保有する場合

ポートフォリオ			・ネットポジション：売 2 単位 - 買 5 単位 = 買 3 単位 ・ブライズ・スキャンレンジ：¥60,000 ・スキャンリスク額：¥180,000 ・商品内スプレッド割増額：¥12,000 ・ネット・オプション価値：¥0 ・売オプション最低証拠金額：¥0 証拠金所要額 = ¥180,000 + ¥12,000 = ¥192,000
東証マザーズ指数先物取引	売	買	
2015 年 12 月限	0	5	
2016 年 3 月限	2	0	

## 例 2 : JPX 日経インデックス 400 オプション取引を下表のとおり保有する場合①

ポートフォリオ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットポジション：売 13 単位 - 買 3 単位 = 売 10 単位</li> <li>・スキャンリスク額：¥4,760,000</li> <li>・ネット・オプション価値：-¥5,350,000</li> <li>・売オプション最低証拠金額：¥270,000</li> </ul> 証拠金所要額 = MAX (¥4,760,000 , ¥270,000) - (-¥5,350,000) <b>=¥10,110,000</b>
JPX 日経インデックス 400 オプション	売	買	
2015 年 12 月限 14,000 円ブット	13	3	

## 例 3 : JPX 日経インデックス 400 オプション取引を下表のとおり保有する場合② (売オプション最低証拠金額が証拠金所要額となるケース)

ポートフォリオ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットポジション：売 13 単位 - 買 3 単位 = 売 10 単位</li> <li>・スキャンリスク額：¥20,000</li> <li>・ネット・オプション価値：-¥10,000</li> <li>・売オプション最低証拠金額：¥270,000</li> </ul> 証拠金所要額 = MAX (¥20,000 , ¥270,000) - (-¥10,000) <b>=¥280,000</b>
JPX 日経インデックス 400 オプション	売	買	
2015 年 12 月限 10,000 円ブット	13	3	

## 例 4 : JPX 日経インデックス 400 先物取引と JPX 日経インデックス 400 オプション取引を下表のとおり保有する場合

ポートフォリオ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・SPAN 証拠金額：¥476,000</li> <li>・ネット・オプション価値：-¥415,000</li> <li>・売オプション最低証拠金額：¥27,000</li> </ul> 証拠金所要額 = MAX (¥476,000 , ¥27,000) - (-¥415,000) <b>=¥891,000</b>
	売	買	
JPX 日経インデックス 400 先物取引 2015 年 12 月限	0	10	
JPX 日経インデックス 400 オプション取引 2015 年 12 月限 15,500 円コール	1	0	

※JPX 日経インデックス 400 オプションの取引換算額が 1,000 円、既上場の JPX 日経インデックス 400 先物の取引単位が 100 円を乗じた額のため、JPX 日経インデックス 400 オプション取引に係るデルタ・スケーリング係数に 10 を設定し、同係数を使って両商品の取引規模の差異を調整します。なお、JPX 日経インデックス 400

先物のデルタ・スケーリング係数は、現行どおり 1 を設定します（JPX 日経インデックス 400 先物の各レコードの収録方法は現行どおりです）。

例 5：台湾加権指数先物取引を下表のとおり保有する場合

ポートフォリオ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットポジション：売 2 単位 - 買 5 単位 = 買 3 単位</li> <li>・ブライズ・スキャンレンジ：¥30,900</li> </ul>
台湾加権指数先物取引	売	買	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキャンリスク額：¥92,700</li> </ul>
2015 年 12 月限	0	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品内スプレッド割増額：¥6,180</li> <li>・ネット・オプション価値：¥0</li> </ul>
2016 年 3 月限	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売オプション最低証拠金額：¥0</li> </ul> <p>証拠金所要額 = ¥92,700 + ¥6,180 = ¥98,880</p>

例 6：FTSE 中国 50 先物取引を下表のとおり保有する場合

ポートフォリオ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットポジション：売 2 単位 - 買 5 単位 = 買 3 単位</li> <li>・ブライズ・スキャンレンジ：¥100,000</li> </ul>
FTSE 中国 50 先物取引	売	買	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキャンリスク額：¥300,000</li> </ul>
2015 年 12 月限	0	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品内スプレッド割増額：¥20,000</li> <li>・ネット・オプション価値：¥0</li> </ul>
2016 年 3 月限	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売オプション最低証拠金額：¥0</li> </ul> <p>証拠金所要額 = ¥300,000 + ¥20,000 = ¥320,000</p>